

## 《自然》

### 葛葉溪谷



秦野盆地のほぼ中央を流れる葛葉川とそれを囲む樹林が、豊かな緑地帯を形成している。1987年（昭和62）に「かながわのナショナルトラスト第1号」に指定された。



### 黒竜の滝

表丹沢県民の森から四十八瀬川の橋を渡って対岸を少し進むと、この滝が見える。落差は15mあり、夏でも涸れることはない。市内には他に「髭僧の滝」「不動の滝」などの滝がある。

## さざんか・れんげつつじ等 自然の木花



「さざんか」は「こぶし」とともに秦野市の「市の木」。

「れんげつつじ」は、5月中頃、渋沢丘陵付近でオレンジ色の花を見ることができる。

## 三屋の大クスノキ



31本ある秦野市指定保存樹木の中のひとつで、1987年（昭和62）に指定された。周囲の長さは4mある。

## 四十八瀬川



塔ノ岳、鍋割山を源とする四十八瀬川は、秦野盆地の西部をほぼ北から南へと流れている。四十八ものたくさんの瀬があるという意味で、名づけられたといわれている。

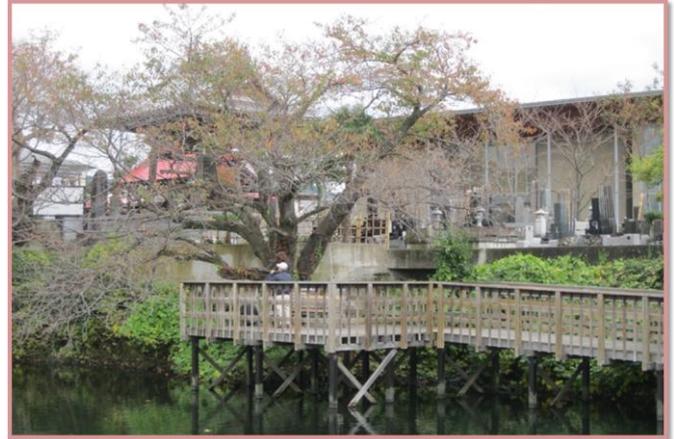
## 震生湖



1923年（大正12）関東大震災で誕生した、日本で最も新しい自然湖。湖畔には調査で訪れた東京帝国大学地震研究所の寺田寅彦の句碑がある。1991年（平成3）に「かながわの探鳥地50選」に選ばれた。

## 市内の湧水

天然の水がめとなっている秦野盆地は、雨水を豊富な地下水として蓄えている。弘法大師の伝説がある「弘法の清水」をはじめ、平沢・今泉・大秦町には多くの湧水があり、これらの湧水群は1985年（昭和60）に環境庁の「名水百選」に選定された。また、蓑毛にも「護摩屋敷の水」等の山麓の湧水群がある。



## 立野緑地

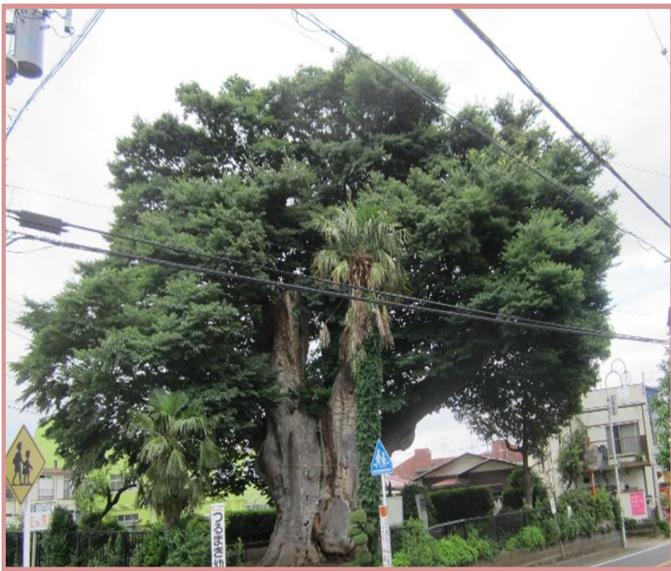


南が丘小学校の北側に広がる一帯は、住宅地に近い斜面が緑地として残され、身近な野鳥を観察するのに適している。1991年（平成3）に「かながわの探鳥地50選」にも選ばれた。

## 丹沢山塊の自然



東西 40 km、南北 20 kmの丹沢山塊はなだらかな主尾根だが、無数に派生した尾根、急斜面、深い溪谷、大小様々な滝、崩壊地をもち複雑な地形を有している。「丹沢大山国定公園」と「県立丹沢大山自然公園」に指定されている。



## 鶴巻の大ケヤキ

県下最大のケヤキで、県の天然記念物に指定されている。

1984年(昭和59)に「かながわの名木100選」に選ばれている。樹高30m、周囲は10mあり、樹齢推定600年以上の巨木。